

▼別ショットの写真



当日はまだ少し気温が低かったのですが、子どもたちは元気がいっぱい笑顔いっぱいでした。今年の初プールを楽しんでいました。

今月の表紙は、6月25日に深溝保育園で行われたプール開きでの1枚です。

今月の表紙

みんなの
広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)
FAX63-5139

日舞サークル「花水木」



サークル紹介初登場の花水木です。前身の翠禮会から続いて日舞を楽しんでいます。

平成5年4月に芦谷コミュニティセンターの竣工を機に、当時公民館長であられました黒柳久治先生が「立派なこの会場を使ってくれよ」とのお話に日舞サークルを立ち上げたのが最初でした。

きれいな会場でお稽古が出来る幸せを感じ、幸田町ってすばらしい町だなと感じた瞬間を思い出しました。

使った後は使う前よりもきれいに

をモットーに22年過ぎた今も、とてもきれいな会場です。月2回渡辺先生のご指導をいただき、また、月2回の自習で和気あいあいの中、友達との和と絆を大切に11月の文化祭に向けて只今特訓中です。私たち花水木ならではの踊り群舞のすばらしさをお見せできるようにと練習に励んでいます。

どうぞ文化祭を見に来てくださいね。お待ちしております。

花水木 代表 ^{かしまつ} 笠松カツ子 ☎62-0823

サークル紹介

この指とーまれ

149

みんなの作品展!

幸田文化協会春の文化展「全国和紙ちぎり絵」からのセレクトです。



さの ゆりこ 佐野百合子 さん



みうらひさえ 三浦久江 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

今日の記念日

8月10日は「健康ハートの日」

1985年に日本心臓財団は、高齢化が進むにつれて増える心臓病に対応するには、国民の予防意識の向上が不可欠であると考へ、8月10日がハート810と読み取れることから、覚えやすいように語呂合わせでこの日を「健康ハートの日」と決めました。

これまでの「心臓病・脳卒中」病気の予防というイメージから、「健康ハート」をつくるという明るいプラスのイメージで、この日を中心に新しい国民運動を展開しようとしたものです。

心臓病の危険因子には高血圧、高脂血症、肥満、糖尿病、喫煙などがありますが、これらの危険因子を軽減するには日常生活(ライフスタイル)を見直すことが大切です。

「健康ハートの日」はこうした生活習慣を見直し、血圧などをチェックすることで、暑い夏の日を「こころとからだの休日」となるよう願ったものです。

記念日には、心臓病への理解を深めるためのイベントが毎年開催され、講演会などが行われています。

* 参考資料：日本心臓財団 <http://www.jhf.or.jp/>



青春
トークリレー
第269走者

すぎうら ゆうみ
杉浦 有美 さん

須美区在住 19歳 職業 学生
身長 164cm 血液型 B型
好きなタイプ 秘密
好きな芸能人 □ーラ

みなさん、こんにちは。私は大学で心理学を専攻し勉強しています。

人の心は、とても曖昧なものですが、そのような心の動きを様々な視点から研究する事によって、今まで知る事ができなかった事を多く学習でき、とても楽しく、興味深く学んでいます。

また、自分に対する理解も深まり、人とのコミュニケーションにも役立つので、とてもよい刺激を受けています。

将来は大学で学んだ事を生かしつつ、今までお世話になった方々に感謝し、地域の皆さまに役立つ仕事に就けたらよいと思います！



掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



環境だより VOL.32

目指せエコ名人！

6月9、10日の2日間にわたり、幸田小学校で環境学習講座が開催されました。

環境カウンセラーの浅野智恵美さんを講師に、4年生4クラスの生徒が「エコライフすごろく」に取り組みました。サイコロを振って駒を進め、止まった箇所に書いてあるエコに関するメッセージについて、クラスの皆で意見を出し合いました。皆積極的に手を挙げ、具体的なごみ減量方法や、すでにおうちで実践している省エネ対策など、次々とエコについての意見が出されました。

最後に浅野さんから、リデュース（ごみを減らす）、リユース（一度利用したものをもう一度使う）、リサイクル（いらなくなった物を他の製品に作りかえて利用する）という「3R」という言葉を教えてもらいました。浅野さんは「今日の授業をきっかけに、自分たちができるエコ行動につなげてくれたらうれしいです。」と話してくれました。



▲元気いっぱい！楽しい授業でした。

さて、話は変わりました。先回、保育園に取材でお邪魔した際の出来事。取材が終わわりちようど給食の時間になりました。一人の園児が「給食食べてくくの？」と声をかけてきたので、「給食は食べないよ」と返事をすると、「ちがう保育園なんだね」と言われました。うーん、さすがに保育園児とは間違えようがないし、よくわからないけど、思わず笑顔になる保育園での取材活動でした。(K)

編集者の
ひらりと

ダイエットのライバルSくんが1か月で6kgやせた姿に衝撃を受けて、ショックで2kgやせた編集者のKです。

今月号の取材では、子ども会のドッジボール大会に行ってきました。自分が小学生時代をやっていた遊びのドッジボールとは大違いで、個人でバラバラに動くのではなく、チームプレーで行うスポーツ競技になっていました。

優勝を喜ぶチームがあり、敗れて悔し涙を流すチームの姿がありました。本気で勝ちたいと思って取り組んできたからこそ流れる悔し涙。強い相手と競い合い、自ら考え工夫する過程で得られる自分自身の成長。勝ち負けだけではない価値がそこにある。と、何だかテニスのS造さんみたいになってしまいました。が、何事も本気で取り組む姿はカッコいいですね。